

# メンタルパワーモデルによる組織の局所安定領域

## Local stability analysis of organization on mental-power model

飯箸泰宏\*  
Yasuhiro IIHASHI

\*明治大学  
Meiji University

**あらまし:** リーダの任務は、組織の局所安定領域を見極めて、必勝の陣形を常に再構築することである。座して死ぬ局所安定領域にその組織は嵌っていないか、必勝の局所安定領域はどこか。優れた組織のリーダーはその人間的な能力をフルに働かせて判断を怠らない。ここでは、組織の局所安定領域とは何かを、ここに提案するメンタルパワーモデルを利用して明らかにする。

キーワード: メンタルパワーモデル 情報組織論 経営戦略 局所安定領域

### 1 はじめに

組織とは定常流的実在であり、きわめて危ういバランスの上に存在している。人と人のつながりの上に作られていながら、その要素たる人は他の組織にも同時に所属しているし、その上、脱退したり、新規に参加してきたりもする。生き残る組織もあるが崩壊する組織も多い。従来言われてきた強度、硬度、大きさという尺度では、生き残る組織を見つけることは困難である。

開放系の熱力学に習って、熱量に対応するメンタルパワーという「量」を導入することによって、組織の局所安定領域を発見することができることをここでは示すことにする。

### 2 “thought leader なし” のモデル(モデル1)

#### 2-1 モデル1の概要

組織  $O$  の中に、ある“志”のグループがあるとす。単純のために、ここは、“志”が高いが、常に知が湧き出してくる源泉 (thought leader) のようなものはないと仮定する。

そのグループのメンタルパワーの総量を  $P$  とする。メンタルパワー  $P$  は一般に次のようにあらわされるものとする。

$$P = q \cdot c \cdot m$$

$q$ : 支持率

$c$ : メンタル比熱

$m$ : メンタル温度

任意の“志”グループを取り上げ、グループ間の干渉がないと仮定すると

$$\frac{dP}{dt} = \rho_w q (m_w - m) \quad (1)$$

$\rho_w$ : 環境と  $O$  との比メンタルパワー伝達速度  
 $w$ : 環境

ここで、

$$q = 1 - e^{-\rho_0 P} \quad (2)$$

と仮定する。

この仮定によれば、メンタルパワーが大きければ、組織率が1に近づく。すなわち100%に近づく。メンタルパワーが小さければ、組織率が0に近づく。すなわち0%に近づく。

$\rho_0$  は  $O$  内の比メンタルパワー伝達速度。  $\rho_0 \geq 0$ 。

#### 2-2 “thought leader なし” のモデルによる組織の時間変化

実数の範囲で (1) (2) から、組織率  $q$  を求めると次のようになる。

$$0 = C = (1/4)$$

$q$  について解くと

$$q^2 - q + Ce^{-\rho_0 \rho_w (m_w - m)t} = 0$$

$$q = \frac{1 \pm \sqrt{1 - 4Ce^{-\rho_0 \rho_w (m_w - m)t}}}{2}$$

$$D = 1 - 4Ce^{-\rho_0 \rho_w (m_w - m)t} \text{ とすると}$$

$$q = \frac{1 \pm \sqrt{D}}{2}$$

